

学校概要

創立 71 周年	学校長 佐塚 久信	副校長 西田 いずみ	学期 2 学期制	児童・生徒数 320 人
学級数 一般級: 9 個別支援級: 2		主な関係校: 平沼小、浅間台小、横浜平沼高校		

学校教育目標

自立・健康・共生

- 自分で考え、行動できる力を高めます 【知・徳】
- 自他の生命を尊重し、心身の健康を向上していく力を育みます 【体】
- 共に認め合い、社会に役立とうとする心を育みます 【公・開】

学校の特徴

- 横浜駅の繁華街に隣接し、集合住宅も多い地域。
- 下町の雰囲気が残っており、街の学校として地域からの支援や学校への協力要請が多い。
- 連合町内会長、各自治会会長をはじめとする地域の方々は学校に協力的で、地域の教育力を高める努力をしている。
- 地域との関わりを重視した「ちよいぼう隊」が有志の生徒たちによって受け継がれ良い伝統となっている。
- 学校支援体制づくりを人的支援を中心に構築したい。(学校・地域コーディネーター)
- 地域防災での連携を更に推し進めたい。(低層の校舎での水害危機)

学校経営中期取組目標

- 授業力の向上を常に図り、家庭学習(自発的学習)の充実を実現し、学びの連続性を持たせた学力の向上につなげます
～主体的・能動的な学習への取り組みができる生徒を授業で育成します
- 教育相談などの個別指導の支援を充実させ、組織的に個に寄り添える指導を実践し、生徒個々の夢の実現につなげます
～特別支援教育をはじめとした個々への支援が確実にいえるよう、情報の共有と活用を推進します
- 外部人材の発掘と活用及び連携を図り、地域とともに子供を育てるセンター的役割を果たします
～教職員以外、地域の教育資源・人材を最大限活用した学校経営を推し進めます

小中一貫教育の取組

岡野中	ブロック	岡野中学校・平沼小学校・浅間台小学校
9年間で育てる子ども像	○授業を大切にすること ○進んで挨拶のできる子供 ○地域の教育力を更に活用	
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分の考えを、相手が納得できるよう説明できる表現力を身に付けさせます ☆確かな思考力と判断力を発揮できるように必要な学力を授業で身に付けさせます ☆更に、規範意識の醸成が図られる学校行事や教育活動を充実させます 	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	学ぶ喜びを感じられる授業づくりを進める。基礎基本を定着させるとともに、考える力や表現する力を育てる。	①「主体的・対話的な深い学び」が実現できる授業実践を行う ②基礎基本の定着への具体策を決定し実践する ③学校図書館利用・ICT機器の活用などは、学力向上と基礎・基本の定着という観点での利用を推進
豊かな心	礼儀や規律を重んじ、自他の人格を尊重し、豊かな人間関係をつくることのできる生徒を育てる。	①道徳の評価に対する生徒からの信頼度を上げると共に、道徳実践の奨励を意識した指導を展開 ②自己肯定感・自己有用感を持つ生徒の育成に必要な計画をまとめ、実践する ③豊かな心が育成できた生徒が、自らの言葉で仲間を考えを発信できる場面をつくる
健やかな体	心と体を一体としてとらえ、運動に親しむ資質や能力を育てる。また、食に関心を持ち、健やかな心身を育む。	①運動に親しむ習慣を身につけさせるための手立てが、教育課程に計画されている ②食に関する確かな知識を持ち、日常生活で実践する強い意志を持った生徒の育成 ③学校だけでなく、行政や地域・保護者と連携しながら、生涯にわたって健やかな体づくりができる策を模索する。
特別支援教育	個々の状況やニーズに応じた支援・指導を推進する。	①個別支援・指導計画で、学校教育のできることの線引きをする ②指導実践を積み重ね、学校での支援の質を上げる ③合理的配慮を構築するためにも、合意形成は欠かせない。保護者の理解が得られる支援を続けていく
いじめへの対応	いじめや不登校の未然防止に向け、生徒が望ましい人間関係を構築できるよう支援する。特にいじめの発見に向け全教職員が生徒を見守る環境づくりを推進する。	①基本となる学級集団や学年集団の意義を理解し、子ども同士で学び合える集団づくりの完成 ②いじめは許さない風土づくりと指導体制の確立を日々の実践を通して高めていく ③SOSを発信できる子どもづくりと、それを聞き入れることのできる人間・機関を増やす
教育環境整備	校内学習環境を見直し生徒が目的に応じて活用しやすくする。さらに、情報機器を活用し様々な情報の共有を更に進める。	①掲示物をはじめとした生徒の目に入る環境整備には、今後も継続して取り組む ②芝生のある校庭の在り方に、新たな発想や改善策を広く聴く ③情報担当の仕事を整理し、校務分掌上での位置づけを明確にする
地域連携	地域と連携して生徒の健全育成のためのお力を借りたり、生徒の地域活動への参加の向上を図る。	①地域の方々との顔のわかる関係づくりは今後も継続 ②学校行事や授業に積極的に地域の方々に入って頂く ③学校・家庭・地域連携事業をはじめとした事業計画のスリム化や統廃合を図り、新たな連携の在り方への準備を始める
人材育成・組織運営	学習指導・生徒指導・学級経営の実践力を高める。校務の効率化を図るとともに、組織運営の活性化に努める。	①教科指導・学級指導の力量をアップさせることが育成の基本 ②生徒・保護者からの信頼を得ることができるとして育成の目標 ③業務に対する使命感・責任感を持ち、校務の効率を上げる